

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 合成糖鎖を用いた細胞表面グリココードの解読と利用
2. 研究代表者： 真鍋 良幸（大阪大学 大学院理学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、細胞表面グリココード（糖鎖情報）の解読・制御を可能とする革新的なツールを開発し、これを利用して生体膜における新しいサイエンス・テクノロジーの展開を目指している。フェーズ1では、糖鎖分子の化学合成を基盤として、糖鎖ライブラリの構築、糖鎖の膜タンパク質への導入法の開発、さらに糖鎖を導入した膜タンパク質の挙動の解明に取り組み、系統的に研究を展開し、優れた成果が得られている。また、創発的研究支援事業の内外で共同研究ネットワークを積極的に作り、自身の研究へと活かしている。当初計画を越えて、順調に進捗していると言える。フェーズ2では、フェーズ1での成果を基盤として、共同研究による in vivo への展開や、糖鎖ライブラリを用いた生化学的な機能の解明など、挑戦的な課題に取り組む意欲が見られ、高く評価できる。新たな分野を創成するような独創的な内容であり、有望な計画であるため、今後の進展に期待する。

以上